２９年度未来への扉

～進路指導通信　vol.3

2017年9月22日（金）
兵庫県立福崎高等学校　進路指導部

今年は季節の変わり目がはっきりしていると思いませんか。例年、９月はもっと蒸し暑い日が多いように思うのですが、朝・夕は肌寒く感じます。勉強しやすい環境であることは間違いありませんので、体育大会が終わった今、３年生は受験に向けて、１、２年生は中間考査を見据えて、勉強しましょう。

・今すべきこと

１年生：文理選択！！

いよいよ文理選択の時期がやってきました。夏休みに参加したオープンキャンパスなどで、だいたいの人が決まっているハズ･･･と思いきや、進路希望調査を見る限り、決め切れていない人が非常に多い印象でした。文系と理系ではカリキュラムが異なります。大きな傾向として、文系は社会の受験科目を日本史・世界史・政治経済・倫理から選べるのに対し、理系は地理を勉強します。その分、理系は理科の専門科目と、数学Ⅲ（選択）まで学ぶことができます。志望分野に従って、受験科目や将来必要となる科目を考えて、選択してください。

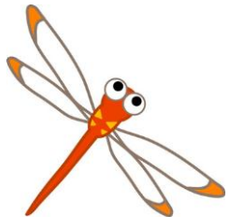
2 年生：志望する学部・学科がある大学について調べる

進路の方向性が決まりつつある今、さらに踏み込んで、大学についても研究する時期です。同じ名称の学部・学科でも学ぶ内容が大きく違うので、自分が志望する分野を深く学べる大学を探しましょう。

就職希望、特に公務員希望者は、そろそろセミナーを活用するなど、具体的な行動を始めましょう。

3 年生：志望校に合わせた勉強（ひたすら！）

14 日は就職直前指導、15 日はセンター試験説明会、22 日は面接全体指導。
進路の行事が立て続けにあり、いよいよ受験！！と気持ちばかりがあせってはいませんか？なかには、模試の成績に一喜一憂してしまう人もいるのでは？勉強の成果はそう簡単には出ません。今は受験スケジュールを組み立て、受験本番に向けて、こつこつと学力を積み上げるだけです。それと事務的な手続きを確実に！！



・進路希望調査 Q&A

ここでは、進路希望調査での質問に答える形で、進路について考えたいと思います。

①　進路についてまったく決まっていません！どうしたらいいですか？

１年生に特に多い質問です。卒業後の進路は大きく分けて「進学」と「就職」の2つです。

進学：本校は普通科高校なので、大多数の人が選択する進路です。ただし、進学といっても 4 年生大学（一部6年）、短大（2年 or3年）、専門学校（2年～4年）に分かれています。経済的に許されるなら、基本的には大学に進学すべきでしょう。また、就きたい職業がはっきりしており、そのための資格がとれるのであれば、専門学校や短大に進学してもよいでしょう。

就職：高卒就職者の３年以内の離職率は約４０％。就職してからこんなはずではなかった･･･とならないようにしなければなりません。

本校は普通科なので、商業科や工業科の生徒に比べて、実用的な資格を取ることはできません。やはり本校の売りは学力の高さなので、まずは勉強をしっかりとして下さい。その上で、部活動や学校行事を通じて自分の PR ポイントをつくっていく必要があります。

※なお、将来像があいまいでも、ある程度の方向性さえ決まっていれば、職種については大学に入ってから決めるという人も多いです。

②　大学で資格をとったほうがいいのか？

「資格」には、大学卒業でなければ取得できないものと、大学以外（専門学校など）卒業でも取得できるものがあります。経済的に許されるのであれば、専門学校よりも大学に進学したほうが、年数的にも余裕が有ることが多いです。さらに、卒業だけではなく、試験で合格しなければ取得できない資格も数多くあります。

ただし、資格取得は、仕事に就くためのパスポートであって、ゴールではありません。

③　国公立大学には本校で何番くらいにいれば入れますか？

本校では毎年１５～２０名程度が国公立大学に合格していますが、学部・学科、入試方法の違いなどもあり、一概に何番以内とはいえません。一番参考になるのは模試の成績でしょう。３年生５教科総合で、全国偏差値が文系は55以上、理系は５０以上であれば合格できる可能性が高まります。１、２年生は偏差値60を目指しましょう。

［番外］　〇〇になるためにはどうすればいいですか？

進路指導室には様々な資料がありますので、一度足を運んで下さい。ただし、会社員、教師など様々な仕事がありますが、共通しているのは、その仕事に就くまでの道のりは一本ではないということです。筆者も、一度民間企業に就職し、その会社を辞めて教師になりました。一つの道筋だけではなく、他の道も調べることで、目標とする進路への理解も深まると思います。

69回生受験体験記

神戸女子大学　文学部　教育学科（公募制推薦）

私は理系でしたが、小学校教諭の道に進むために文系の学部に行きました。
私は２年生の最後まで、大学のことや将来のことをあまり考えていませんでした。先生に相談したり、オープンキャンパスに行ったり、調べたりして、自分の「行きたい大学」「学びたいこと」を見つけました。だから、少しみんなよりは遅れたスタートをしたと思います。
実際、受験勉強をやり始めたのは、部活が終わってからの５月からでした。まだ、みんな総体が終わってない時期に、放課後一人で、教室や図書館を利用して、毎日勉強しました。私の受験科目は、「国語（現代文）」「生物基礎」でした。この２つの勉強法は、

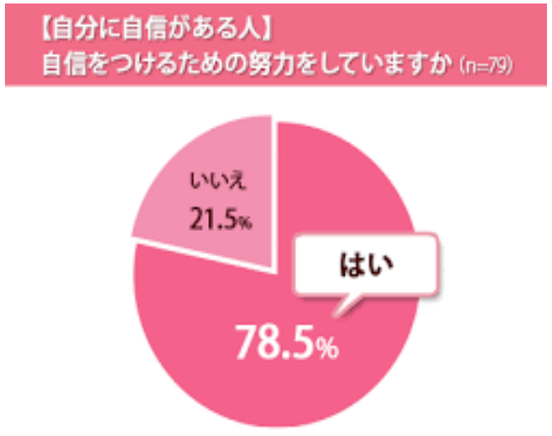
【国語】
国語の先生に頼み、大学の何年間もの過去問を解き、解いた時間と点数を記録し、毎日見てもらいました。
「何が悪かったのか」「どうしてこの問題が解けなかったのか」などたくさんのアドバイスをもらいました。先生に見てもらうことで、点数が徐々に上がり、全くなかった国語のスキルを、３ヶ月ほどで伸ばすことに成功しました。

【生物基礎】
過去問も重要ですが、生物基礎は１年生で習ったものです。３年生になった時にはほぼ忘れていたので、一からすべて学習しました。教科書や参考書の内容を頭にたたき込みました。自分で買ったワークや、先生に勧められた受験対策用ワークを何回も繰り返し解いて、答えを覚えるまでやりました。

私の後輩に対して出来るアドバイスは２つあります。

１　推薦は受験する大学の基準に届いていないと、学校から推薦してもらえません。１年生のころから推薦で通りたい大学があるのであれば、その大学はどれだけの成績がいるのかを分かっていた方が良いでしょう。

２　「行ける大学」を探すのではなく、「行きたい大学」を探してください。オープンキャンパスに行ってみて、自分がその大学で、未来に向かって学んでいるところを、イメージしてみて下さい。きっと、これから勉強するときのモチベーションとなります。



最後に、学校で受けている模試は、最終的な合否とは少し変わってきます。私は大学受験するまでの全ての模試は、最後まで E 判定でした。でも私は、「ここの大学で学びたい！」という強い意志があり、自分を信じて受験しました。合格通知が来たときは、嬉しさが溢れて泣きました。どんな状況でもあきらめずに、自分を信じて頑張って下さい。

・部長より

時間の有効活用のために必要なこととは

何か事を新しく行う上では、それまでしてきたことを整理して、何が出来ていて、何が出来ていなかったのか、何が使えるのか、といった整理をしないと、してきたことが活かせずに、何のためにそれをしてきたのかが分からなくなる。

何か事を行う上では、目標なり、目的を明確に定めないと、それを行った結果の評価は出来ない。なぜなら、目標や目的という基準が存在していてこそ、初めて評価という行為も可能となるからである。だから、何となく事を行っているという場合、結果の評価もできないし、だからこそ、効率的に動こうとか、効果的にしよう等、といった発想もできず、だらだらと時間を使うことになる。

時間の制約の中で人は生きており、更にするべきことが多い中で、するべきことに対しては、いかにそれなりの結果を残すのか、ということが重要となる。

自分のしたいことについては、時間をだらだらと使っても構わない。しかし、それを行うためには、するべきことを、効率よく、かつ、効果的に済ますことが必要で、それがテキトーで終わっていれば、結局、後で、余分な時間を、更に使うことになる。

人に与えられている時間は平等ではない。置かれている環境によって、自分の使える時間は限られている。だからこそ、その置かれている環境に負けず（流されず）に、主体的に時間を使うことが必要であり、そのためにも、自分で時間を創りだすという、意識と意欲が必要だ。

与えられた時間を、何も考えずに使う段階から、自分で主体的に時間を創り、その時間を最大限に使う段階へと進んでいくことが求められる。